

男子 団 体 戦 組 合 せ

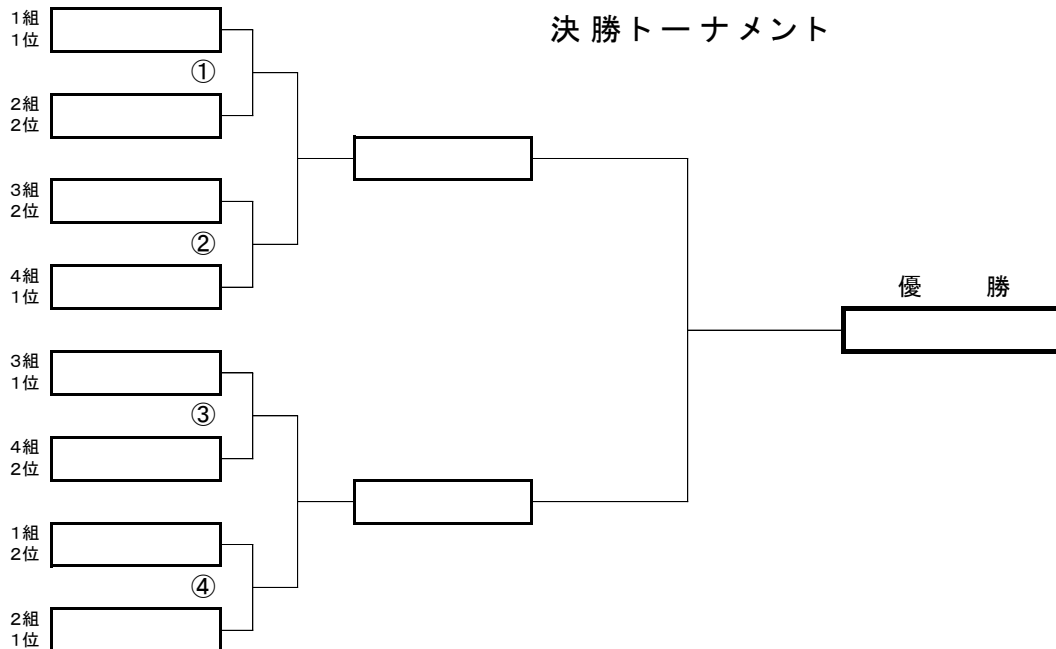
予 選 リ ー グ

1組	学 校 名 (県 名 ・ 順 位)	浜 名 三 重	愛 産 大 三 河	大 垣 東	勝 数	勝 者 数	総 本 数	順 位	
	組	浜 名 (静 岡 ・ 1)	/						
		三 重 (三 重 ・ 2)							
		愛 産 大 三 河 (愛 知 ・ 3)							
		大 垣 東 (岐 阜 ・ 4)							

2組	学 校 名 (県 名 ・ 順 位)	济 美 星 城	四 日 市 工 業	吉 原	勝 数	勝 者 数	総 本 数	順 位	
	組	济 美 (岐 阜 ・ 1)	/						
		星 城 (愛 知 ・ 2)							
		四 日 市 工 業 (三 重 ・ 3)							
		吉 原 (静 岡 ・ 4)							

3組	学 校 名 (県 名 ・ 順 位)	鈴 鹿 高 山 西	浜 松 湖 北	桜 丘	勝 数	勝 者 数	総 本 数	順 位	
	組	鈴 鹿 (三 重 ・ 1)	/						
		高 山 西 (岐 阜 ・ 2)							
		浜 松 湖 北 (静 岡 ・ 3)							
		桜 丘 (愛 知 ・ 4)							

4組	学 校 名 (県 名 ・ 順 位)	名 古 屋 大 谷	磐 田 東	美 濃 加 茂	津 西	勝 数	勝 者 数	総 本 数	順 位	
	組	名 古 屋 大 谷 (愛 知 ・ 1)	/							
		磐 田 東 (静 岡 ・ 2)								
		美 濃 加 茂 (岐 阜 ・ 3)								
		津 西 (三 重 ・ 4)								



男子 団 体 戦 試 合 順 序

試合 順序	第 1 試 合 場			
	学 校 名	成 績		学 校 名
1	浜 名	/	/	大 垣 東
2	三 重	/	/	愛 産 大 三 河
3	濟 美	/	/	吉 原
4	星 城	/	/	四 日 市 工 業
5	浜 名	/	/	愛 産 大 三 河
6	三 重	/	/	大 垣 東
7	星 城	/	/	吉 原
8	濟 美	/	/	四 日 市 工 業
9	浜 名	/	/	三 重
10	愛 産 大 三 河	/	/	大 垣 東
11	四 日 市 工 業	/	/	吉 原
12	濟 美	/	/	星 城
決①		/	/	
決②		/	/	
準決		/	/	
決勝		/	/	

試合 順序	第 2 試 合 場			
	学 校 名	成 績		学 校 名
1	鈴 鹿	/	/	桜 丘
2	高 山 西	/	/	浜 松 湖 北
3	名 古 屋 大 谷	/	/	津 西
4	磐 田 東	/	/	美 濃 加 茂
5	高 山 西	/	/	桜 丘
6	鈴 鹿	/	/	浜 松 湖 北
7	名 古 屋 大 谷	/	/	美 濃 加 茂
8	磐 田 東	/	/	津 西
9	鈴 鹿	/	/	高 山 西
10	浜 松 湖 北	/	/	桜 丘
11	美 濃 加 茂	/	/	津 西
12	名 古 屋 大 谷	/	/	磐 田 東
決③		/	/	
決④		/	/	
準決		/	/	

※ 左側を赤として正面に向かい右側に整列する。

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
/					
/					

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
/					
/					

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
/					
/					

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
/					
/					

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
/					
/					

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将
/					
/					

女 子 団 体 戦 組 合 せ

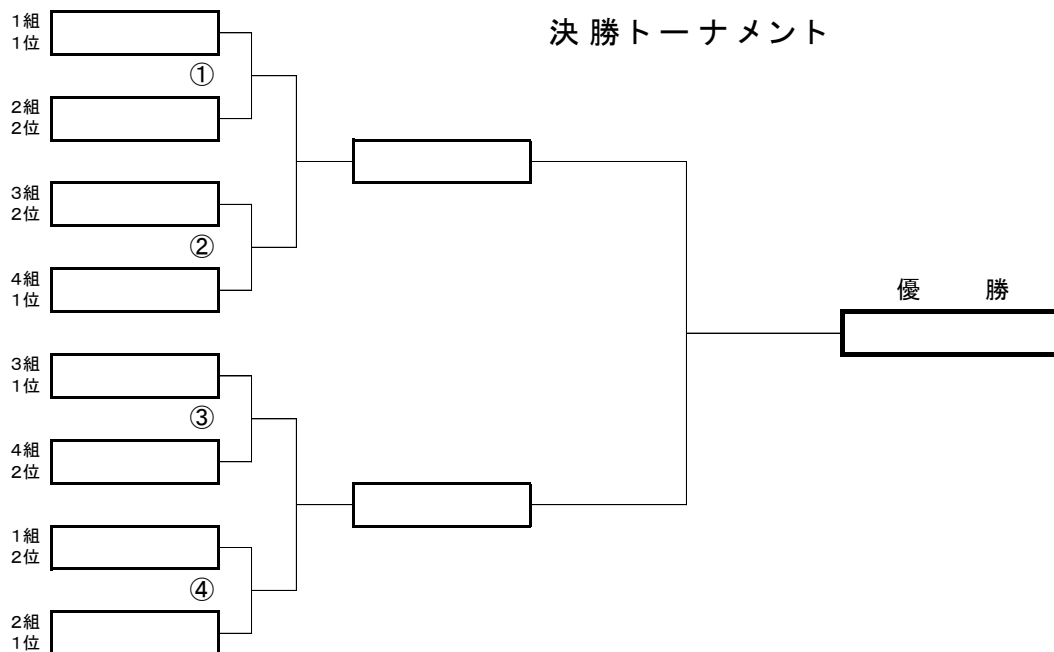
予 選 リーグ

1組	学 校 名 (県名・順位)	東海大翔洋	濟 美	四日市工業	東 邦	勝数	勝者数	総本数	順 位
	東海大翔洋 (静岡・1)								
	濟 美 (岐阜・2)								
	四日市工業 (三重・3)								
	東 邦 (愛知・4)								

2組	学 校 名 (県名・順位)	桜 丘	三 重	郡 上	浜松湖北	勝数	勝者数	総本数	順 位
	桜 丘 (愛知・1)								
	三 重 (三重・2)								
	郡 上 (岐阜・3)								
	浜松湖北 (静岡・4)								

3組	学 校 名 (県名・順位)	高 山 西	星 城	磐 田 東	いなべ総合	勝数	勝者数	総本数	順 位
	高 山 西 (岐阜・1)								
	星 城 (愛知・2)								
	磐 田 東 (静岡・3)								
	いなべ総合 (三重・4)								

4組	学 校 名 (県名・順位)	鈴 鹿	浜 名	岡崎城西	大垣商業	勝数	勝者数	総本数	順 位
	鈴 鹿 (三重・1)								
	浜 名 (静岡・2)								
	岡崎城西 (愛知・3)								
	大垣商業 (岐阜・4)								



女 子 団 体 戦 試 合 順 序

試合 順序	第 3 試 合 場			
	学 校 名	成 績		学 校 名
1	東海大翔洋	/	/	東 邦
2	済 美	/	/	四日市工業
3	桜 丘	/	/	浜松湖北
4	三 重	/	/	郡 上
5	東海大翔洋	/	/	四日市工業
6	済 美	/	/	東 邦
7	三 重	/	/	浜松湖北
8	桜 丘	/	/	郡 上
9	東海大翔洋	/	/	済 美
10	四日市工業	/	/	東 邦
11	郡 上	/	/	浜松湖北
12	桜 丘	/	/	三 重
決①		/	/	
決②		/	/	
準決		/	/	
決勝		/	/	

試合 順序	第 4 試 合 場			
	学 校 名	成 績		学 校 名
1	高 山 西	/	/	いなべ総合
2	星 城	/	/	磐 田 東
3	鈴 鹿	/	/	大垣商業
4	浜 名	/	/	岡崎城西
5	星 城	/	/	いなべ総合
6	高 山 西	/	/	磐 田 東
7	鈴 鹿	/	/	岡崎城西
8	浜 名	/	/	大垣商業
9	高 山 西	/	/	星 城
10	磐 田 東	/	/	いなべ総合
11	岡崎城西	/	/	大垣商業
12	鈴 鹿	/	/	浜 名
決③		/	/	
決④		/	/	
準決		/	/	

※ 左側を赤として正面に向かい右側に整列する。

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

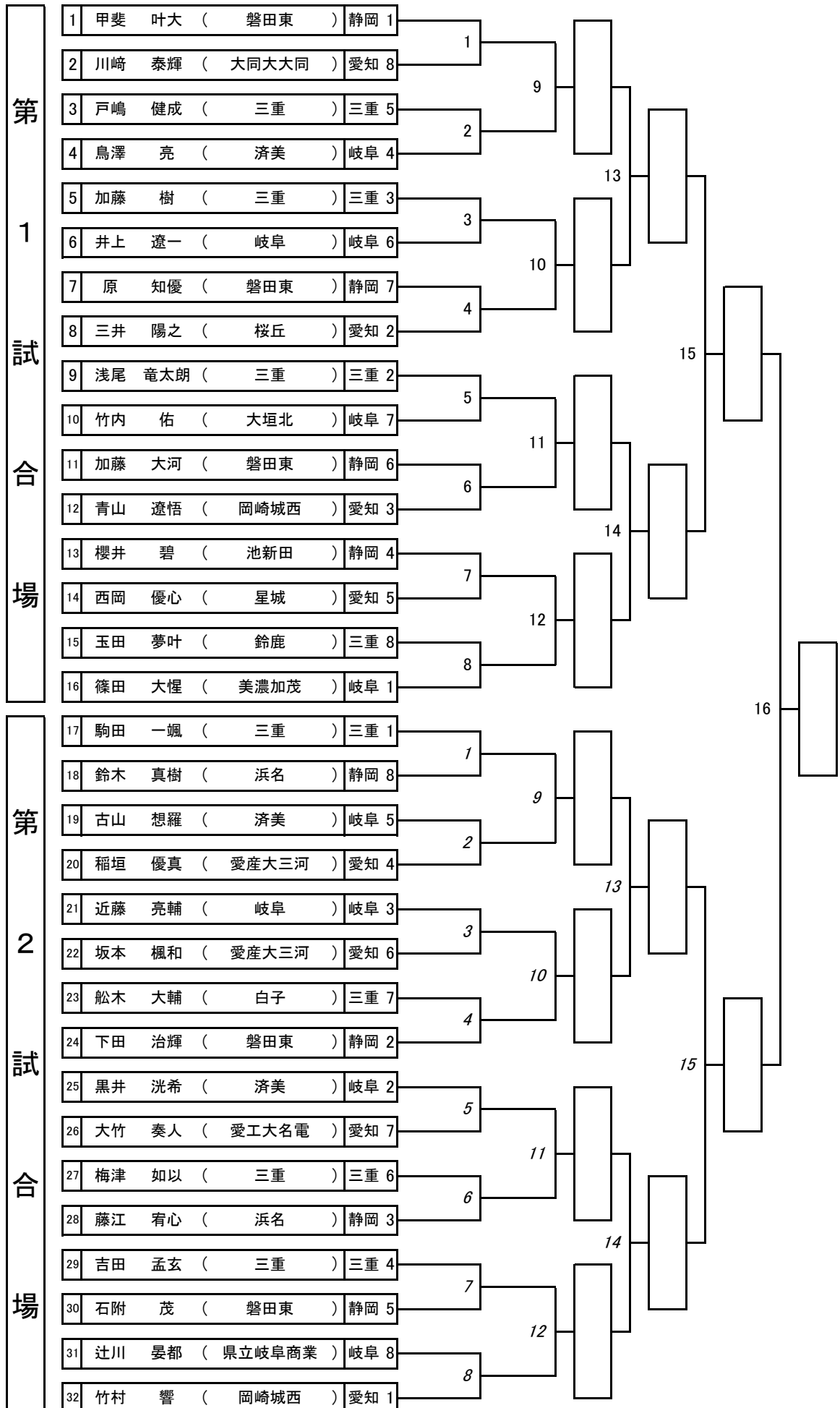
学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

学 校 名	先 鋒	次 鋒	中 堅	副 将	大 将

男 子 個 人 戦 組 合 世

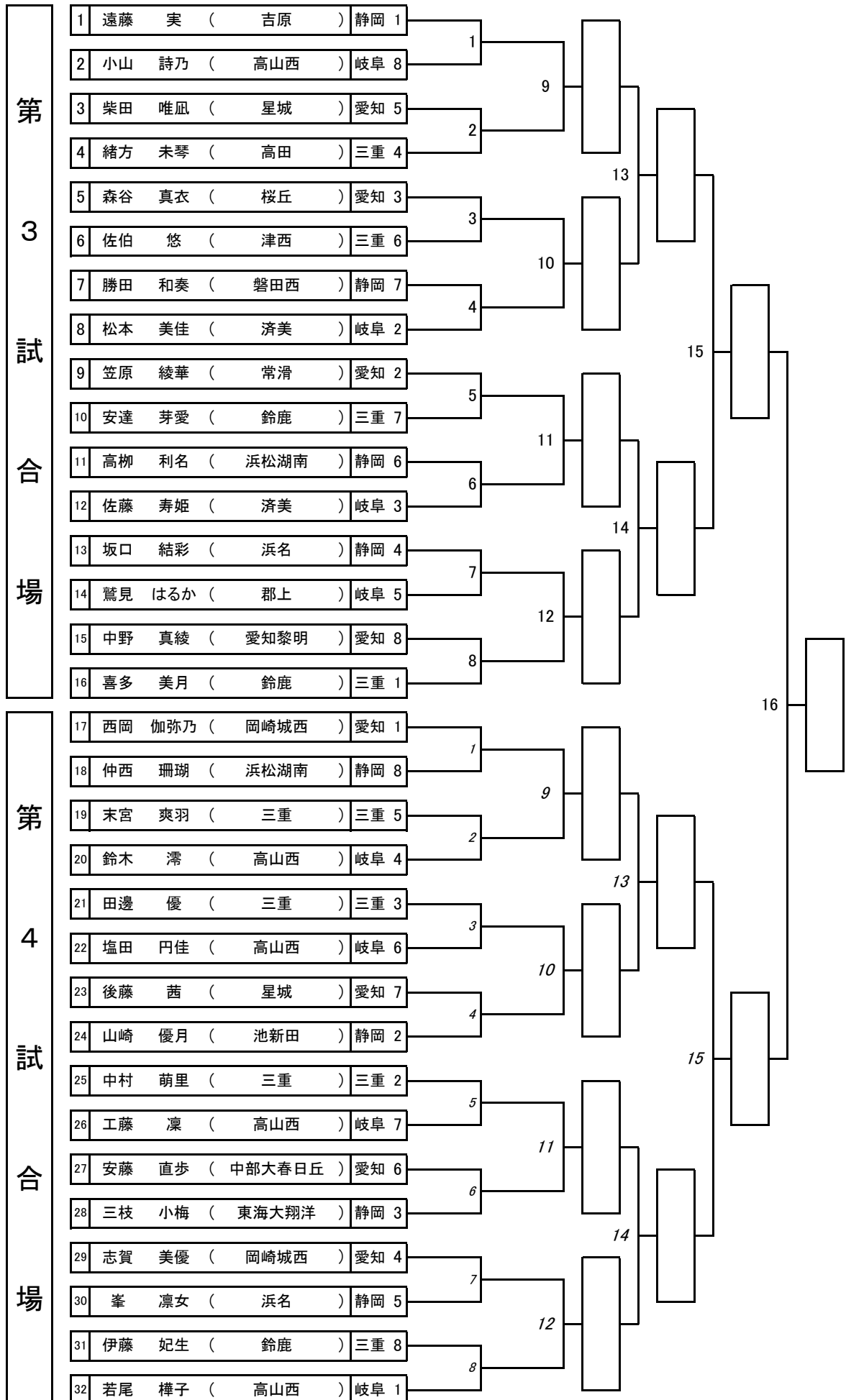


男子個人戦試合順序

第 1 試 合 場					
順番	選 手 名	成 績		選 手 名	
1	甲斐 叶大 (磐 田 東)	静岡		川崎 泰輝 (大 同 大 大 同)	愛知
2	戸嶋 健成 (三 重)	三重		鳥澤 亮 (济 美)	岐阜
3	加藤 樹 (三 重)	三重		井上 遼一 (岐 阜)	岐阜
4	原 知優 (磐 田 東)	静岡		三井 陽之 (桜 丘)	愛知
5	浅尾 竜太郎 (三 重)	三重		竹内 佑 (大 垣 北)	岐阜
6	加藤 大河 (磐 田 東)	静岡		青山 遼悟 (岡 崎 城 西)	愛知
7	櫻井 碧 (池 新 田)	静岡		西岡 優心 (星 城)	愛知
8	玉田 夢叶 (鈴 鹿)	三重		篠田 大惺 (美 濃 加 茂)	岐阜
9	()			()	
10	()			()	
11	()			()	
12	()			()	
13	()			()	
14	()			()	
準決	()			()	
決勝	()			()	

第 2 試 合 場					
順番	選 手 名	成 績		選 手 名	
1	駒田 一颯 (三 重)	三重		鈴木 真樹 (浜 名)	静岡
2	古山 想羅 (济 美)	岐阜		稲垣 優真 (愛 産 大 三 河)	愛知
3	近藤 亮輔 (岐 阜)	岐阜		坂本 楓和 (愛 産 大 三 河)	愛知
4	船木 大輔 (白 子)	三重		下田 治輝 (磐 田 東)	静岡
5	黒井 洸希 (济 美)	岐阜		大竹 奏人 (愛 工 大 名 電)	愛知
6	梅津 如以 (三 重)	三重		藤江 宥心 (浜 名)	静岡
7	吉田 孟玄 (三 重)	三重		石附 茂 (磐 田 東)	静岡
8	辻川 晏都 (県立岐阜商業)	岐阜		竹村 響 (岡 崎 城 西)	愛知
9	()			()	
10	()			()	
11	()			()	
12	()			()	
13	()			()	
14	()			()	
準決	()			()	

女 子 個 人 戦 組 合 世



女子個人戦試合順序

第 3 試 合 場					
順番	選 手 名		成 績	選 手 名	
1	遠藤 実 (吉原)	静岡		小山 詩乃 (高山西)	岐阜
2	柴田 唯凧 (星城)	愛知		緒方 未琴 (高田)	三重
3	森谷 真衣 (桜丘)	愛知		佐伯 悠 (津西)	三重
4	勝田 和奏 (磐田西)	静岡		松本 美佳 (済美)	岐阜
5	笠原 綾華 (常滑)	愛知		安達 芽愛 (鈴鹿)	三重
6	高柳 利名 (浜松湖南)	静岡		佐藤 寿姫 (済美)	岐阜
7	坂口 結彩 (浜名)	静岡		鷲見 はるか (郡上)	岐阜
8	中野 真綾 (愛知黎明)	愛知		喜多 美月 (鈴鹿)	三重
9	()			()	
10	()			()	
11	()			()	
12	()			()	
13	()			()	
14	()			()	
準決	()			()	
決勝	()			()	

第 4 試 合 場					
順番	選 手 名		成 績	選 手 名	
1	西岡 伽弥乃 (岡崎城西)	愛知		仲西 珊瑚 (浜松湖南)	静岡
2	末宮 爽羽 (三重)	三重		鈴木 滯 (高山西)	岐阜
3	田邊 優 (三重)	三重		塩田 円佳 (高山西)	岐阜
4	後藤 茜 (星城)	愛知		山崎 優月 (池新田)	静岡
5	中村 萌里 (三重)	三重		工藤 凜 (高山西)	岐阜
6	安藤 直歩 (中部大春日丘)	愛知		三枝 小梅 (東海大翔洋)	静岡
7	志賀 美優 (岡崎城西)	愛知		峯 凜女 (浜名)	静岡
8	伊藤 妃生 (鈴鹿)	三重		若尾 樺子 (高山西)	岐阜
9	()			()	
10	()			()	
11	()			()	
12	()			()	
13	()			()	
14	()			()	
準決	()			()	

東海高等学校総合体育大会剣道競技申し合わせ事項

東海高等学校体育連盟剣道専門部

1 試合について

- (1) 試合は、全日本剣道連盟「試合規則・審判規則及び細則」、及び本「申し合わせ事項」にて行う。
- (2) 【個人試合】試合時間は4分間とする。勝敗が決しない場合は延長戦を行い、先に1本とったものを勝ちとする。延長戦の試合時間は4分とする。延長戦が継続する場合は、延長戦2回ごとに「深呼吸」・「給水」の休息・休憩を繰り返す。
※「休息」…開始戦で立ったまま竹刀を納め、立礼の位置に下がって深呼吸。
※「休憩」…選手を選手席に戻し、面を外させ給水させる。試合開始までは4分程度を目途とする。審判員も一度審判席に戻る。
- (3) 【団体試合】試合時間は4分間とし、以後引き分けとする。チームの勝敗は、勝者数、総本数の順で決する。勝敗の決しない場合、予選リーグでは代表者戦を行わない。決勝トーナメントでは代表者戦を行う。
＜リーグ終了後＞チームの勝敗(勝ち1、引き分け0.5)、勝者数、総本数の全てが同数の場合は最終試合出場者のうち任意の1名を選出し、代表者戦を行う。3校が同点の場合、試合ごとに選手を変更してもよい。試合順はくじとし、1. A-B 2. B-C 3. A-C とする。代表者戦は団体の礼をしてから行う。
＜代表者戦＞は選手5人のうち、任意の1名による1本勝負とし、試合時間は個人試合に準じる。
- (4) 試合開始時刻に所定の試合場に選手が揃わない場合は、そのチームは棄権と認め、相手チームを不戦勝とする。
- (5) チームに欠員が生じた場合は、相手選手を不戦勝として2本を与える。ただし、欠員がチームの半数を超えた場合は、出場できない
- (6) 登録選手を変更する場合は、監督会議が始まるまでに正規の申込書に準じて届け出る。
- (7) 選手の変更については、必ずその試合前に本部へ届け出て、補欠と選手との交代の許可をとる。ただし、この場合出場位置の変更及び退場者の再出場は認めない。

2 服装・用具について

- (1) 竹刀は破損、補修のない完全な竹刀で、検査・計量(男子480g・女子420g)に合格したものをを用いること。なお、先革の太さは男子2.6cm、女子2.5cm(直径)以上とし、長さは5cm以上とする。ちくとう部(竹刀先端より8cmの最小直径)は、男子2.1cm、女子2.0cm以上とする。万一、不正竹刀の使用があった場合は、その個人を負け(2対0)とし、その大会の出場権を失う(既得権なし、リーグ戦では、補欠による補充は認めない)。なお、鏢は固定すること。カーボン竹刀は使用可。
- (2) 選手は必ず垂中央に黒または紺地に白文字で上部に学校名を横書きで、下部に姓を縦書きにした「名札」をつけること。
- (3) 面紐は結び目から40cm以内、それ以上長いものや小手紐の長く垂れたものを使用しないこと。
- (4) 新しい形式の防具・面「武楯」は、使用可。
- (5) 靴またはゴム底の足袋の使用は認めない。足袋・踵専用のサポーター、テーピングの使用は以下の条件で認める。
ア. 相手に害を与えない イ. 見苦しくない ウ. 有利にならない
- (6) 選手の服装は、紺(黒)または白の剣道着、袴とする。なお、刺繍等により華美にならないこと。
- (6) 選手は、長さ70cm・幅5cmの紅白の「目印」を用意し、対戦相手に応じて背中につけること。

3 作法について

- (1) 選手は全員、剣道着・袴に胴・垂を着用し開始式に参加すること。
- (2) 団体戦の礼は、一試合ごとに中心点を挟んで9歩の間で行い、審判に近い側を先鋒とする。
- (3) 正面に対する礼は、大会の第一試合の始めと、決勝戦の前後のみ行う。また、試合開始は先鋒が立礼の位置に立ち、審判長の合図によって行う
- (4) 審判員が合議の際、試合者は中央にて立ったまま竹刀を納め、立礼をした位置まで下がって蹲踞、または正座して待機し、合議終了後は審判員の指示により開始位置で立礼をし竹刀を抜き合わせる事
- (5) 応援は拍手で行い、声援はしないこと。

4 審判員及び監督の服装について

- (1) 審判員は、全剣連規定の服装で行う。
- (2) 監督の服装は全国高体連申し合わせ事項に準じる。

※連絡事項

緊急時の連絡は次のとおりとする。開催県高体連事務局→開催県専門委員長→各県専門委員長→参加校顧問